



製品・テクノロジー 取り扱いマニュアル

今回は弊社商品をご購入いただきありがとうございます。

このマニュアルは商品の取り扱い、調整方法、テクノロジーを説明するマニュアルとなっております。ご不明な点や、プロダクトの詳細については弊社ウェブサイトをご覧ください。カスタマーサービスコールへお問い合わせください。(巻末のお問い合わせ情報をご覧ください。)

目次	P1-2
テラーメイド アジャスタビリティー テクノロジー	P3
各部・パーツの名称	P4
トルクレンチ	P5
クイック インストラクション1・FCTの操作手順	P6
クイック インストラクション2・ASPの操作手順	P7
クイック インストラクション3・MWT <sup>®</sup> の操作手順	P8
クラブのセッティング手順	P9

注意／FCTについて .....	P10
注意／ASPについて .....	P11
FCTポジションとロフトオプション.....	P12
FCT:ヘッドの仕様(ロフト角・ライ角・フェースアングル)変更の手順 .....	P13
ASP:フェースアングル変更の手順 .....	P14
MWT <sup>®</sup> :弾道変更の手順 .....	P15
MWT <sup>®</sup> :ウェイトカートリッジの取り外し、取り付け方法 .....	P16
注意事項 .....	P17-20
スイングウェイトについて .....	P21

## テラーメイド アジャスタビリティ テクノロジー

テラーメイドの3つの調整機能は、スイングに適した細かなセッティングを行うことで、より大きな飛距離や正確性の高いショットを提供します。

### FLIGHT CONTROL TECHNOLOGY

#### フライトコントロールテクノロジー



大きな飛距離を得るために、ロフト角を調整し、打ち出し角を高くしたり低くしたりすることができます。

テクノロジー搭載モデル：R11ドライバー、R11フェアウェイウッド、レスキュー（2011モデル）

### ADJUSTABLE SOLE PLATE

#### アジャスタブルソールプレート



大きな飛距離を得るために、アドレス時における好みの方角に調整できます。

テクノロジー搭載モデル：R11ドライバー、R11フェアウェイウッド

### MOVABLE WEIGHT TECHNOLOGY

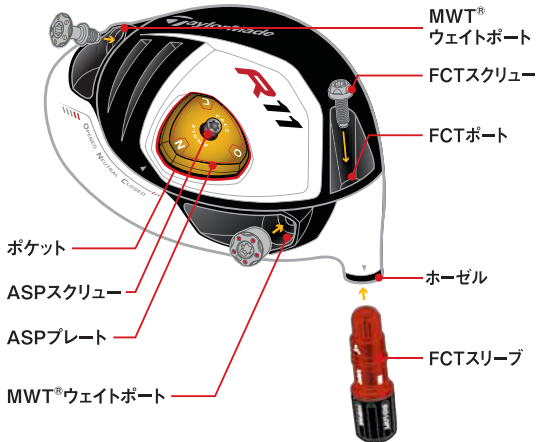
#### ムーバブルウェイトテクノロジー



大きな飛距離を得るために、クラブヘッドの重心位置を調整することで、弾道の選択ができます。

テクノロジー搭載モデル：R11ドライバー

# 各部・パーツ名称



FCT/ASP用トルクレンチ  
(ホワイト)



ウェイトカートリッジ



FCTスクリュー  
(FCTスリーブ固定用)



ASPプレート



ASPスクリュー  
(ASPプレート固定用)



ASPリング  
(ASPスクリュー脱落防止用)  
ASPプレート内に配置



FCTリング  
(FCTスクリュー脱落防止用)  
FCTポート内に配置



FCT/ASP用トルクレンチ

ボディカラー：ホワイト  
40インチポンド



MWT<sup>®</sup>専用トルクレンチ

ボディカラー：イエロー  
30インチポンド

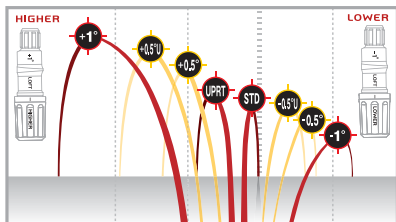


MWT<sup>®</sup>専用トルクレンチ

ボディカラー：シルバー  
30インチポンド

FCTとASP、MWT<sup>®</sup>を安全にご利用いただくためには用途に見合った適切なトルクレンチが必要です。FCT/ASP用トルクレンチはMWT<sup>®</sup>にも使用できますが、MWT<sup>®</sup>専用トルクレンチではFCT、ASPはご利用できません。

FCT(フライトコントロールテクノロジー)は、大きな飛距離を得るために、ロフト角を調整し、打ち出し角を高くしたり低くしたりボールのスピンの量を変えたりする事ができます。



※図の説明は右打ちプレイヤー基準です。

## フライトコントロールテクノロジーによるロフト角の変更方法

- ① ヒールに設置されたFCTスクリューを緩めます。
- ② FCTスリーブを回転させ調整したい角度のポジションを選択します。
- ③ 選択したスリーブポジションのラインとホーゼルに印された矢印を合わせ、FCTスクリューを締め付けます。R11ドライバーの場合、標準ロフトは9°と10.5°の2種類です。FCTスリーブを“higher”と表示されたポジションにセットするとロフトが1°大きくなりスピンの量が約500回転増えます。FCTスリーブを“lower”と表示されたポジションにセットするとロフトが1°少なくなりスピンの量が約500回転減ります。FCTは8つのポジションから選択が可能です。

ASP(アジャスタブルソールプレート)は、フェースアングルを調整する事で、アドレスにおける好みのフェースの向きを選択ができ、大きな飛距離を得る事ができます。



SETTING	FACE	TOP VIEW
<b>O</b>	<b>2° OPEN</b>	
<b>N</b>	<b>NEUTRAL</b>	
<b>C</b>	<b>2° CLOSED</b>	

### アジャスタブルソールプレートによるフェースアングルの変更方法

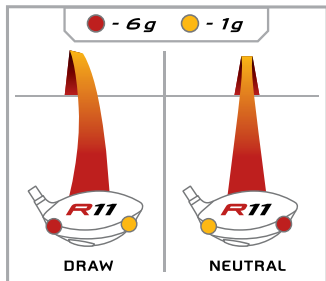
- ① ASPスクリューを緩めます。
- ② ASPプレートを回転させ、お好みのフェースアングルのポジションを選択します。
- ③ ソール後方の中央に印された矢印に合わせ、ASPスクリューを締め付けます。
- ④ クラブをソールして、フェースアングルの確認をしてください。

ポジションは、下記の3つから選択できます。

**N** = Neutral (ニュートラル)   **O** = 2° Open (オープン)   **C** = 2° Closed (クローズド)



MWT<sup>®</sup>(ムーバブルウェイトテクノロジー)は、クラブヘッドの重心位置を調整することで、ドローやニュートラルの弾道が選択でき、左右約10ヤードの領域で弾道を変更する事ができます。



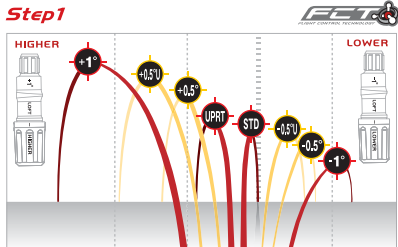
※図の説明は右打ちプレイヤー基準です。

### ムーバブルウェイトテクノロジーによる重心位置の変更方法

6gのMWT<sup>®</sup>ウェイトカートリッジをヒール側に装着するとドローボールになり、トゥ側に装着するとニュートラルな弾道となります。

# クラブのセッティング手順

## Step1



step: 1 FCTスリーブでロフトの選択

▼ (8つのポジションから選択できます)

step: 2 ASPでフェースアングルの選択

▼ (3つのポジションから選択できます)

step: 3 MWT®で弾道の選択

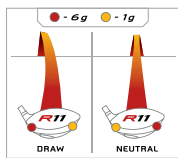
(2つのポジションから選択できます)

## Step2



SETTING	FACE	TOP VIEW
<b>O</b>	2° OPEN	
<b>N</b>	NEUTRAL	
<b>C</b>	2° CLOSED	

## Step3



最大48通りのセッティングから選択ができます。  
(搭載機能は、製品によって異なります)

※弾道はイメージ図です。

※図の説明は右打ちプレーヤー基準です。

**R11**  
DRIVER



→ 最大可変領域 **91ヤード**  
(48通りのセッティングポジション)

**R11**  
FAIRWAY WOODS



→ 最大可変領域 **72ヤード**  
(24通りのセッティングポジション)

**RESCUE**



→ 最大可変領域 **30ヤード**  
(8通りのセッティングポジション)

図 1-a



FCTスリーブは工場出荷時にすでにシャフト先端に固定されています。

FCTスクリューはFCTリング (FCTスクリュー脱落防止用) によりFCTポート内に残ります。

図 1-c



シリアルナンバー

図1-cはスタンダード (STD) ポジションに正しく装着されている状態です。

図 1-b



ホーゼル

FCTスクリューは図のようにホーゼルの内側のFCTリングにより脱落しません。

図 1-d



図1-dはシャフトが正しく装着されていない状態ですので、図1-cのようにFCTスリーブの赤く塗られた先端部分が完全に隠れるようにFCTスリーブをホーゼルの奥まで挿入してください。

図2-a



図2-aはN(ニュートラル)ポジションに正しく装着されている状態です。ポケットの形状通りに、そして水平に装着してください。

図2-b



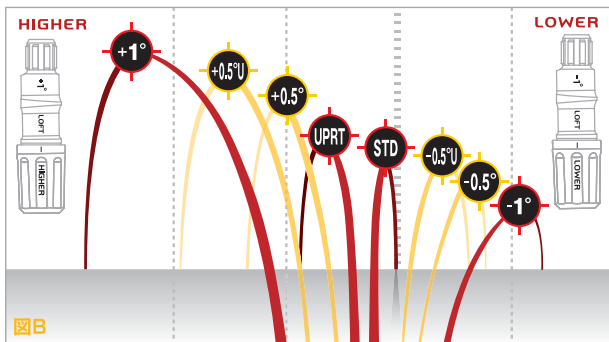
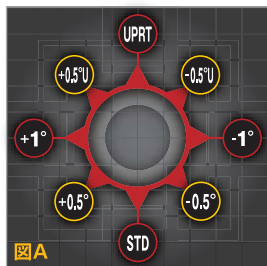
図2-bはポケットの形状通りに装着されていません。図2-aのようにポケットの形状に合わせて装着してください。

図2-c



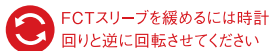
図2-cはASPプレートが正しく水平に装着されていません。図2-aのように水平に装着してください。

FCTスリーブのポジションとロフトオプション、弾道イメージの関係は図A、図Bようになります。

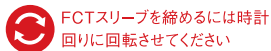


※図の説明は右打ちプレーヤー基準です。

ヘッドの仕様を変更するには、FCT/ASP用トルクレンチの先をヘッドのソールに配置されたFCTポートに取り付けてあるFCTスクリューの六角(星型)の穴の形状に合わせてまっすぐ差し込みます。片手でFCT用トルクレンチをしっかりと持ち、もう一方の手でクラブヘッドをしっかりと支えながら、FCTスクリューを時計回りとは逆に回転させて緩めてください。約5回転ほどで緩みます。その際、FCTスクリューはFCTリングによりヘッドからは外れず、FCTスリーブはシャフトごとホーゼルから取り外す事が可能です。(P10:図1-a、1-b参照)



次に選択したポジションをホーゼルに印された矢印に合わせて。FCTスリーブの付いたシャフトをFCTスリーブの赤く塗られた先端部分が完全にホーゼル内に入って見えなくなるまで差し込みます(P10:図1-c、1-d参照)。FCT/ASP用トルクレンチを用いてFCTスクリューを時計回りに締めつけてFCTスリーブをヘッドに装着してください。FCTスクリューは、完全に取り付けられたことを知らせるカチツというレンチの音が聞こえるまで、しっかりと回転させてください。(FCTスリーブは、特定のトルクまで締め付けることにより完全に固定できるよう設定されています。FCT/ASP用トルクレンチは「自動過剰締付防止機能付き」です。これはFCTスリーブの固定に必要なトルク量で締め付けられるレンチ、という意味です。)



※MWT®専用トルクレンチはFCTスリーブの固定に使用できません。(P5参照)

フェースアングルを変更するには、FCT/ASP用トルクレンチの先をソール後方に配置された、ASPプレートの中心にあるASPスクリーの六角(星型)の穴の形状に合わせて、レンチの先端をネジに対し垂直になるように差し込みます。片手でFCT/ASP用トルクレンチをしっかりと持ち、もう一方の手でクラブヘッドをしっかりと支えながら、ASPスクリーを時計回りとは逆に回転させて緩めます。約4回転から8回転ほどで緩みます。ポジションにより緩むまでの回転数が異なります。

ASPスクリーを完全に抜き取る必要はありません。ASPプレートがソールのポケットより上に浮き上がった段階で、ASPプレートを回転させお好みのポジションに調整することが可能です。


(ASPプレートは、ヘッドから完全に取り外せません。ASPスクリーは、脱着防止用のASPリングによりASPプレートから抜け落ちないようにしています。)

ASPプレート上に表記されている文字は、N=neutral(ニュートラル);O=2°open(オープン);C=2°closed(クローズド)を意味しています。(P7参照) 選択したポジションをソール後方にマーキングされた矢印に合わせてます。FCT/ASP用トルクレンチを用いてASPスクリーを時計回りに回転させ締め、ヘッドに固定してください。締め付けの際、ASPプレートがしっかりとソール部のポケットの中に水平に納まっていることを確認しながら作業を行ってください。(P11参照)


※ポケットに正しく納められていなかったり、ASPプレートが斜めになったりした状態で取り付けられた場合、ASPは正しく機能いたしません。

ASPスクリーは、完全に取り付けられたことを知らせるトルクレンチのカチツという音が聞こえるまで、しっかりと回転させてください。(ASPプレートは、特定のトルクまで締め付けることにより完全に固定できるよう設定されています。FCT/ASP用トルクレンチは「自動過剰締付防止機能付き」です。これはASPプレートの固定に必要なトルク量で締め付けられるレンチ、という意味です。)



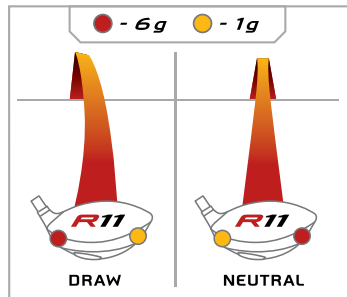
 ASPプレートを緩めるには時計回りと逆に回転させてください



 ASPプレートを締めるには時計回りに回転させてください

※MWT®専用トルクレンチはASPプレートの固定に必要なトルク量は配分できませんので、ASPをご利用の際は必ずFCT/ASP用トルクレンチをご使用ください。(P5参照)

※ドライバー用ASPプレートとフェアウェイウッド用ASPプレートは、異なる設計になっております。お互いに付け替えて使用することはできません。



※図の説明は右打ちプレイヤー基準です。

ウェイトカートリッジ  
ポジション



DRAW



NEUTRAL



**LIGHT WEIGHTED**

(軽めのウェイトカートリッジ)



**HEAVY WEIGHTED**

(重めのウェイトカートリッジ)

## 弾道を変える

弾道を調節するには、トゥ側のMWT<sup>®</sup>ウェイトポートよりもヒール側のMWT<sup>®</sup>ウェイトポートに重めのウェイトカートリッジを装着すると、ドロー(左曲がり)の傾向が強くなります。逆にヒール側のMWT<sup>®</sup>ウェイトポートよりもトゥ側のMWT<sup>®</sup>ウェイトポートに重めのウェイトカートリッジを装着するとニュートラル、もしくはフェード(右曲がり)の傾向が強くなります。

また、別売りのウェイトカートリッジを装着することによりさまざまな弾道調整が可能になります。

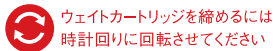
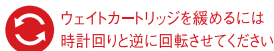
※文中の用語は右打ちプレイヤーを基準にした用語使いです。



ウェイトカートリッジをMWT<sup>®</sup>ウェイトポートから取り外すには、トルクレンチ(P5参照)の先をウェイトカートリッジの六角(星型)の穴の形状に合わせてまっすぐ差し込みます。片手でトルクレンチをしっかりと持ち、もう一方の手でクラブヘッドをしっかりと支えながら、ウェイトカートリッジを時計回りとは逆に回転させてください。ネジがゆるみウェイトが完全に外れたらMWT<sup>®</sup>ウェイトポートから取り出します。

ウェイトカートリッジをMWT<sup>®</sup>ウェイトポートに取り付けるには、トルクレンチを用いてウェイトカートリッジを時計回りに回転させ、ウェイトカートリッジをMWT<sup>®</sup>ウェイトポートに装着してください。完全に取り付けられたことを知らせるトルクレンチのカチッという音が聞こえるまで、しっかりと回転させてください。(ウェイトカートリッジは、特定のトルクまで締め付けることにより完全に装着できるよう設定されています。トルクレンチは「自動過剰締付防止機能付き」です。これは装着に必要なトルク量で締め付けられるレンチ、という意味です。)

※FCT/ASP用トルクレンチを使用し脱着することも可能です。(P5参照)



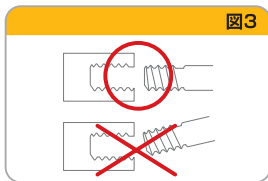
### 重要: 損傷を防ぐために

FCTスクリューとシャフトに固定されたFCTスリーブ、及びASPスクリューとASPプレート、ウェイトカートリッジとMWT®ウェイトポートの損傷を防ぐため、以下を守ってください。

取り付け作業時に、FCTスクリューのネジ山とFCTスリーブのネジ溝、及びASPスクリューのねじ山とポケットのねじ溝、ウェイトカートリッジのネジ山とMWT®ウェイトポートのネジ溝がまっすぐに揃っていることを確認してください。この確認を怠ると、それぞれのネジ山やネジ溝に損傷が生じる可能性があり、その結果、各パーツの取り外しや取り付けができなくなります。(図3参照)

取り外し、取り付けの最中には、トルクレンチの先がFCTスクリューやASPスクリュー、ウェイトカートリッジの六角(星型)の穴に完全に、そしてしっかりと挿入されていることを確認してください。トルクレンチとクラブヘッドをしっかりと支え、トルクレンチの先端と六角(星型)の穴が常に垂直になるよう気をつけてください。

取り付け中、FCTスクリューやASPスクリュー、ウェイトカートリッジが完全に取り付けられたことを知らせるトルクレンチのカチツという音が聞こえたら、トルクレンチの締め付け回転をやめてください。



TaylorMade®社製専用トルクレンチ以外の工具による取り外しや取り付けを行わないでください。六角(星型)のネジ穴がつぶれたり、または接続部分が破損したりすることを避けるためです。

また、MWT®専用トルクレンチではFCT及びASPの操作はできませんのでご注意ください。ネジの緩みや破損の原因となり、クラブを正しく使用することができなくなります。(P5参照)



プレーまたは練習の前には、毎回クラブヘッドを注意深く点検し、FCTスリーブやASPプレート、ウェイトカートリッジが正しく装着されていることをご確認ください。FCTスリーブの赤い色がホーゼルより見えている場合には、FCTスリーブが正しく装着されていない事を示しています。(P10:図1-c、1-d参照) FCTスリーブがFCTポートに、ASPプレートがポケットに、ウェイトカートリッジがすべてのMWT®ウェイトポートに適切に装着されていない限り、コースを回ったり、ドライビングレンジで練習したり、スイングを試したりしないでください。これらが守られない場合、次のような状況を引き起こす可能性があります。

- ①土、ほこり、湿気、異物などがFCTスリーブのねじ穴、ホーゼル内部、ASPプレート内部、ポケットのねじ穴、MWT®ウェイトポートのネジ穴の隙間に入り込むことがあります。これらはネジを損傷する可能性があります。FCTスリーブやASPプレート、ウェイトカートリッジの再装着を困難あるいは不能にします。場合によっては、クラブヘッドやホーゼルの内部に損傷が生じ、結果として、クラブの性能に悪影響を与えることにもなりかねません。
- ②FCTスリーブがホーゼルに、ASPプレートがポケットに、ウェイトカートリッジがMWT®ウェイトポートに適切に装着されていない場合、スイングの最中にヘッドやASPプレート、ウェイトカートリッジが外れる可能性があります。その結果、ご自分や周りの人が負傷する恐れがあります。

### 保管方法・お手入れ

- ① FCTスリーブやASPプレート、ウェイトカートリッジの取り外しは、仕様変更と調整をする場合のみ行ってください。それ以外の場合は、FCTスリーブのねじ穴、ホーゼル内部、ASPプレート内部、ポケットのねじ穴、MWT<sup>®</sup>ウェイトポートのネジ穴への異物侵入を防ぐため、クラブ保管時も含めて常時、各パーツを正しく装着したままにしておいてください。
- ② クラブヘッドのお手入れ時またはその他いかなる場合においても、ホーゼル、FCTスリーブ、ASPプレート、空のMWT<sup>®</sup>ウェイトポートのネジ穴に液体が侵入しないよう注意してください。クラブヘッドのお手入れ中は、FCTスリーブやASPプレート、ウェイトカートリッジがすべて装着されていなければなりません。
- ③ FCTスリーブやASPプレート、ウェイトカートリッジの取り外しと取り付けは、異物が空のホーゼルやFCTスリーブ、ASPプレート、ポケットのねじ穴、MWT<sup>®</sup>ウェイトポートのネジ穴に侵入したり、ネジ山に詰まったりしないよう、清潔な場所で行ってください。濡れたり汚れたりしたFCTスリーブやウェイトカートリッジはそのまま装着せずに、やわらかい乾いた布等で完全に拭きとってからご使用ください。
- ④ ホーゼル、FCTポートやポケットのねじ穴、MWT<sup>®</sup>ウェイトポートの中に異物が入った場合、各ネジ穴の底に異物が落ちないように、ネジの穴が下を向くように持ち、きれいな布で取り除きます。
- ⑤ シャフトに装着されたFCTスリーブの先端のネジ溝、FCTスクリューのネジ山やASPスクリューのネジ山、ソール部のポケットのネジ溝、ウェイトカートリッジのねじ山、MWT<sup>®</sup>ウェイトポートのネジ溝には、いかなる種類の潤滑剤も使用しないでください。潤滑剤が必要とされることはありません。
- ⑥ シャフトに装着されたFCTスリーブの先端及びFCTスクリューのネジ山、ウェイトカートリッジのネジ山、ASPスクリューのネジ山は、研磨したり、やすりにかけたりするなどのいかなる改造や変更も決して行わないでください。各パーツの適切な装着が妨げられ、ヘッドやASPプレート、ウェイトカートリッジがスイングの最中に外れる可能性が生じます。その結果、ご自分や周りの人が負傷する恐れがあります。
- ⑦ 脱落防止用リングで止められている、FCTスクリュー、及びASPスクリューは無理に取り外さないでください。

## ゴルフ規則について

ウェイトカートリッジやASPプレートを外したままのプレー、及びラウンド中にFCTスリーブポジションの変更、ASPポジションの変更、ウェイトカートリッジの交換を行わないでください。

- ① テーラーメイドのシャフトが脱着できる製品及びフェースアングルが変えられる製品、ウェイトカートリッジの取り外しができる製品は、米国のUSGAおよび英国のR&Aによる「ゴルフ規則」を遵守しています。しかし、ラウンド中におけるシャフトポジションの変更やフェースアングルの変更、ウェイトカートリッジの取り外しや取り付けをする行為は、規則第4条2a項「正規のラウンド中、クラブの性能は調節その他の方法により故意に変更してはならない。」という規定に抵触し、ゴルフ規則の遵守不履行とみなされます。
- ② 穴のあいたクラブヘッドは、USGAとR&Aによる「ゴルフ規則」の遵守不履行とみなされます。附則第Ⅱ条4a項には以下のように規定されています。:「クラブヘッドの形状は大体において単純なものでなければならない。また、そのすべての部分は堅牢(rigid)で、ヘッドの実質的な構成部分であるとともに、機能的でなければならない。単純な形状についてはこれを正確に、しかも包括的に定義づけることは困難であるが、単純な形状の要件に反するものとみなされ、したがって規則上許させないものの例として、(a)クラブヘッドを貫き通っている穴が含まれる。」

## スイングウェイトについて

スイングウェイトとは、クラブをスイングするときにクラブに感じる軽さや重さのことです。ヘッドエンドとグリップエンド間の重量差が大きくなると、スイング時のクラブに感じる重さが増し、クラブのスイングウェイトが重くなります。ウェイトカートリッジを搭載したテーラーメイドのゴルフクラブでは、取り付けたウェイトカートリッジの総重量がウェイトカートリッジの交換により増えると、スイングウェイトが重くなります。

スイングスピードの速いゴルファーの場合は、スイングウェイトを重めにすると、スイング中のヘッド位置をより正確に感じることができるため、コントロールを向上させることができます。スイングスピードの比較的遅いゴルファーでは、スイングウェイトを軽めにするとヘッドスピードを上げることができるため、距離を伸ばすことができます。

ツアープロが使用するドライバーのスイングウェイトは、一般にD0からD7です。極端に剛性の高いシャフトを使用するツアープロは、通常ヘッド位置の感覚を際立たせるために重めのスイングウェイトを選び、クラブヘッドの感覚を抑えたいツアープロは、概して軽めのスイングウェイトを選ぶ傾向にあります。

テーラーメイドのMWT<sup>®</sup>（ムーバブルウェイトテクノロジー）において、ウェイトカートリッジの合計重量を2g変えることで約1.25ポイントのスイングウェイトを変えることができます。

プロダクトの詳細については弊社ウェブサイトをご覧ください。

[japan.taylormadegolf.com](http://japan.taylormadegolf.com)

**Customer Service Center** 商品に関するお問い合わせは、下記フリーダイヤルまで  
カスタマーサービスコール 0120-558-562・10:00～18:00 (月～金) ※祝日除く



[japan.taylormadegolf.com](http://japan.taylormadegolf.com)